

桑名市総合医療センターニュース

第0035号 平成27年2月発行



難病の方の新たな医療費助成制度について

平成27年1月から難病の医療費助成制度が変わりました。

<変更点>

- 1 医療費助成の対象疾患が56疾患⇒110疾患に拡大されました。
- 2 患者さまの負担が変わりました。
 - ・医療費の自己負担割合が3割⇒2割になりました。
 - ・所得に応じ負担する金額の限度額が変わりました。

○新たな医療費助成における月額自己負担限度額表

階層区分	階層区分の基準		患者負担割合：2割 *ただし、高齢者医療制度における1割負担者を除く 自己負担限度額（外来+入院+薬代）					
			原則			既認定者（経過措置3年間）		
			一般	高額かつ長期	人工呼吸器等装着者	一般	現行の重症患者	人工呼吸器等装着者
生活保護	—		0	0	0	0	0	0
低所得Ⅰ	市町村民税 非課税 (世帯)	本人の収入 ～80万円	2,500	2,500	1,000	2,500	2,500	1,000
低所得Ⅱ		本人の収入 80万円超	5,000	5,000		5,000		
一般所得Ⅰ	市町村民税 課税以上7.1万円未満		10,000	5,000	1,000	5,000	5,000	1,000
一般所得Ⅱ	7.1万円以上25.1万円未満		20,000	10,000		10,000		
上位所得	25.1万円以上		30,000	20,000		20,000		
入院時の食費			全額自己負担			1/2自己負担		

対象疾患以外の治療等で受診した場合は、通常の請求となります。

*平成27年1月1日以降に新規申請した認定者および新たに拡大された指定難病の認定者

*特定疾患受給資格者証をお持ちで、平成26年12月31日までに手続きを行った認定者

*高額かつ長期・・・医療費総額が5万円を超えた月数が申請を行った月以前の12月以内に既に6月以上ある者

※新制度では、新たな認定基準が設定されたため、以前の制度で受給者証の交付を受けている方でも、医療費支給認定者として認定されない場合があります。

また、「難治性肝炎のうち劇症肝炎」「重症急性膵炎」に罹患されている方は新たな制度の対象となりません。ただし、旧制度で認定されていて平成26年12月末までに申請をされている方は医療費助成が受けられます。

～受給者証をお持ちの患者様へ～

<自己負担額の管理について>

・自己負担額は入院、外来、薬代の区別がなくなりました。負担額を適切に管理するため受給者証とともに交付される『自己負担上限額管理票』を病院、診療所、薬局、訪問看護を利用する際に支払い窓口には必ずご提示いただきますよう、ご協力をお願い致します。



ピックアップ 桑名市総合医療センター 新しく生まれ変わった健診センター

健診センター長 竹田 寛

本年1月より健診センターが新しく生まれ変わりました。今まで東、西医療センター別々に運営されていましたが、それを統合したもので、場所は従来の東医療センター2階にあります。それに伴い、組織や健診内容も拡充を行いました。その主な点を紹介致します。

1) 週5日、二診体制となりました (別紙、診療案内をご覧ください)。

昨年まで医師1人の一診体制でしたが、2人の医師が並行して診察にあたる二診体制としましたので、受診者枠が倍増しました。その分、予約申し込みをいただいてから検査日までの待ち日数が短縮され、また診察までの待ち時間も短縮されますので、受診者の皆様にはスピーディで快適な健診を受けていただけます。



2) 毎日、女性医師の診察があります。

二診のうち一診は女性医師が担当しますので、女性でも気軽に安心して受診していただけます。例えば乳がん検診では、女性医師が視触診を行い、女性技師がマンモグラフィ検査やエコー検査を担当します。担当するのは、小西佳絵医師、上田稔医師で、4月からは泉恭代医師も加わります。



3) 基本健診料が安くなりました。

健康診断には、たくさんの検査項目があります。

しかしそれら全てが必ずしも必要であるとは限りません。当センターでは、受診者の年齢や性別も考慮しながら、健康の維持のために欠かすことのできない必須項目を厳選して基本健診項目としました。従来の検査項目と比べて省いたものもあり、付け加えたものもあります。その結果、料金は15%安くなりました。

基本健診項目を
4ページに掲載
しています。

4) 「がん」の早期発見に力を入れます。

今、日本人男性の2人に1人、女性の3人に1人が「がん」にかかると云われ、誰が「がん」になってもおかしくない時代です。「がん」は進行がんであれば怖い病気ですが、早期がんであれば怖くありません。胃がん、大腸がん、乳がん、子宮がんなどでは90%以上、肺がんでも80%ほど治ります。早期がんは症状の無いことが多く、その発見には定期的に検診を受けることが極めて大切です。当センターでは、早期がんの診断に最も有用な検査を受けやすくしました。



✦ 早期肺がんの診断に最も有効な肺CT検査を安くしました。

CTによる肺がんの検出率はレントゲン写真よりも10倍ほど高く、5mmほどの小さな超早期の肺がんでも見つけることができます。当センターではその価格を従来の半額(5,400円)にして、できるだけ多くの方に受けていただけるように致しました。50歳を過ぎたら年に1度は肺CTを受けて下さい。喫煙者はいうまでもありません。



- ✦ 胃がん、大腸がん検診は、胃内視鏡（胃カメラ）、大腸内視鏡（ファイバー）検査を中心に行います。

早期胃がんの発見に最も有効な胃内視鏡検査の枠を大幅に拡げ、受診しやすくしました。担当するのは、泉恭代医師です。

また便潜血反応による大腸がん検診で陽性になった場合には、早期大腸がんの診断に最も有用な大腸内視鏡検査を消化器科にて行います。



- ✦ 子宮がん検診には、エコー検査を併用し診断精度を高めます。

若い女性では子宮頸部がんが多く、高齢になると子宮体がんが増えます。したがって50歳以下の方には子宮頸部がん検診を、50歳を過ぎたら子宮体がん検診も併せてお受けになることをお勧めします。当センターでは、通常の内診および細胞診に加えて経膈エコー検査も併用することにより、診断精度を高めるようにしています。



- ✦ 乳がん検診では最新鋭のマンモグラフィ装置を用い、より精度の高い検診をめざします。

40歳以下の方では乳房エコー検査を、40歳以上の方はマンモグラフィと乳房エコー検査を1年ごと交互に受けるようにして下さい。

- ✦ 前立腺がん：50歳以上（ご家族に前立腺がん患者のいる方は45歳以上）の男性は、血液検査による前立腺がん検診（PSA検査）が最も有効です。

5) 脳ドックをさらに充実します。

MR I や頸動脈エコー検査、眼底カメラ、認知機能テストなどにより脳出血や脳梗塞、脳腫瘍、認知症などの早期診断に努めます。担当するのは、辻理医師です。

6) 生活習慣病の予防のために、専任の管理栄養士を配置して栄養指導の強化に努めます。

肥満、高血圧、糖尿病、高脂血症など生活習慣病の予防や改善には、栄養バランスのとれた食事と適度な運動が大切です。当センターでは専任の管理栄養士を配置して、栄養指導や生活指導を強化します。担当するのは、岩田加壽子、中野陽土子管理栄養士の二名です。

7) その他のオプション

骨塩定量検査：骨粗しょう症の診断のために、最新の骨塩定量装置を導入しました。本装置では、全身の骨塩量を最も正確に反映すると云われる腰椎の骨塩量を測定することができます。特に50歳以上の女性には、お勧めします。



その他、血管脈波検査による血管年齢や動脈硬化の判定やリウマチ検査などを行っています。

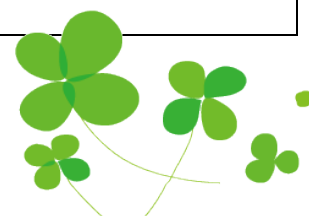
(次ページにつづく)



<基本健診項目> 1日人間ドック 28,480円（消費税込） *昼食券付き

検査項目	検査内容
問診	診察
身体測定	身長・体重・BMI・腹囲・血圧・視力・肥満度
聴力検査	オーディオメーター（1000Hz、4000Hz）
眼科検査	眼圧・眼底
尿検査	蛋白・糖・潜血、沈渣
便検査	便ヘモグロビン（2回法）
血液検査	血球検査（白血球・赤血球・ヘモグロビン・ヘマトクリット・血小板数・血液像）、肝機能（AST・ALT・ALP・ γ -GPT・総蛋白・アルブミン・総ビリルビン・LDH）、脂質代謝（HDL コレステロール・LDL コレステロール・中性脂肪）、腎機能（クレアチン・eGFR）、尿酸、糖代謝（血糖・HbA1c）
心電図検査	安静時（十二誘導）
肺機能検査	肺活量、肺活量比、一秒量、一秒率
胃部検査	胃内視鏡（ヘリコバクターピロリ抗体測定を併用）または胃X線検査
胸部X線検査	直接撮影（正面）
超音波検査	腹部超音波検査
総合診断	個人面談による結果説明

新しくなりました健診センターにおきまして、私達職員一同、市民の皆様一人ひとりの健康を守るために、一生懸命頑張りますので、どうぞよろしくお願ひします。



トピックス

新しい医師の紹介

<桑名東医療センター 救急科>

医師名：坂倉 康文

（さかくら やすふみ）



<所属学会>

日本救急医学会

日本東洋医学会

三重県立総合医療センターより転勤して参りました。主として外傷を中心とする救急・集中治療に従事し、並行して漢方医学、緊急麻酔、形成外科的創傷治療、緩和ケア等に携わってきました。

今後は救急全般及び漢方外来を行っていく予定です。まだ慣れない点が多く、皆様にご迷惑をお掛けすることもあるかと思ひますが、宜しくお願ひ致します。



地方独立行政法人桑名市総合医療センター

桑名東医療センター ・ 桑名西医療センター ・ 桑名南医療センター

公開セミナー

“医療現場から考える医療通訳者の活用”に参加しました。

平成27年1月24日、アスト津4階研修室にて、三重県主催の公開セミナー『医療現場から考える医療通訳者の活用』が開催されました。

セミナーでは、三重県環境生活部多文化共生課職員から三重県内の医療通訳者の配置状況やその反響について報告があった後、医療通訳者を配置している県内5か所の医療機関より事例紹介が行われました。

桑名市総合医療センターからは、落合信子看護部長が事例紹介者として参加し、東医療センターにおける医療通訳者の業務内容や、通訳者を配置することで得られた様々なメリットを紹介しました。



配置曜日：毎週 月・水・木
時間：8:30~17:15
対応言語：スペイン語
 ポルトガル語
費用：無料

医療通訳者を配置することは、日本語を話すことが出来ない外国人とのコミュニケーションを助けるだけでなく、医療現場にとっても診療行為を円滑にすることができ、双方にとってメリットが大きいと再確認することができました。

桑名東医療センターでは、現在、週3日医療通訳者としてカルデナス・カルラさんが勤務しています。そして、依頼に応じて西医療センター、南医療センターへも出向いて活動しています。

患者さまからも職員からも信頼が厚く、毎日来てほしいと要望が多く寄せられたため、平成27年4月からは平日は毎日勤務となる予定です。

医療通訳者 カルラさんから一言



はじめまして、ペルーのリマ出身のカルデナス・カルラと申します。日本に来て19年が経ちました。日本の文化や日本語の知識を深めたい気持ちで、日本語学校フルコースを2年間通いました。平成12年から四日市市の教育委員会でスペイン語・ポルトガル語・日本語の通訳活動をしながら、(公財)三重県国際交流財団で行っている「医療通訳育成研修」を受けました。

現在、桑名市総合医療センターで日本語に不安のある外国人住民が安心して日本の医療サービスを受けられるように「医療通訳者」として活動しています。外国の患者さまに付き添って、診察、検査、入院、手術、その他いろいろな状況の通訳をし、ペルーの大学で4年間勉強した心理学を生かし、患者さまの不安感を和らげたり、他言語の壁を乗り越えられるようにお手伝いをしています。これからも、よろしくお願ひします！

平成26年度第3回研修医症例検討会を開催しました

平成26年12月4日に桑名西医療センターにて、研修医による症例検討会を開催しました。多くの質疑応答があり、大変有意義な症例検討会になりました。

症例①『症候性肝嚢胞に対してミノサイクリン注入療法を
施行した一例』(西医療センター内科症例) 今 鉄男

症例②『虫垂粘液産性腫瘍の一例』

(東医療センター外科症例) 金森 春奈



桑名市総合医療センター

〈基本理念〉 最良の医療を提供し、地域の皆さまから信頼され必要とされる病院を目指します。

- 〈基本方針〉
- ① 患者さまを中心に考え、真心・思いやり（忠恕）の医療を提供します。
 - ② 医療の水準と質の向上に努め、安全性を確保します。
 - ③ 地域の皆さまに安心していただける中核病院としての責任を永続的にはたします。
 - ④ 患者さまおよび職員にとって魅力ある病院をつくります。

〈桑名西医療センター〉

各種教室のご案内

外来棟3階図書室へお越しください。

当院に受診されていない方も、興味のある方はどなたでもご参加ください。
予約制の教室は、定員に達し次第、締め切らせていただきます。

糖尿病教室

日 時：2月19日（木）13：00～14：30（15分前までにお越しください）
テーマ：座談会～みんなでお菓子を食べながらお話ししよう～
参加費：800円（デザート代込み） ※昼食は付きません。
*予約制です。ご希望の方は0594-22-7111（代表）へお電話ください。

肝臓病教室

日 時：4月3日（金）13：00～14：00（10分前までにお越しください）
テーマ：C型肝炎～治療、薬、食事について～
参加費：100円（資料代） ※食事は付きません。
*予約制です。ご希望の方は0594-22-7111（代表）へお電話ください。

減塩教室

☆3回シリーズで減塩の基本から応用まで説明します。
3回シリーズですが、各会のみ参加でも減塩について学べる内容にしています。
日 時：2月10日（火）12：30～14：00（10分前までにお越しください）
テーマ：減塩の基本①
参加費：800円（昼食代込み）
*予約制です。ご希望の方は0594-22-7111（代表）へお電話ください。

◆シャトルバスをご利用ください◆

*桑名駅と3病院の間を循環しています。

*始発は桑名駅 8:00 発、最終は桑名駅 16:00 発（桑名西医療センター終着）

*午前最終は桑名駅 11:30 発、南医療センター11:33 発、東医療センター11:38 発、西医療センター11:50 発（桑名駅終着）です。午後の始発は桑名西医療センター12：50 発です。



地方独立行政法人 桑名市総合医療センター



桑名東医療センター（旧山本総合病院）

住所 三重県桑名市寿町三丁目11番地
電話 0594-22-1211（代表）
FAX 0594-22-9498（代表）
〈地域医療室〉 電話 0594-22-2110
FAX 0594-22-2166



桑名西医療センター（旧桑名市民病院）

住所 三重県桑名市北別所416番地1
電話 0594-22-7111（代表）
FAX 0594-24-1506（代表）
〈地域医療連携室〉 電話 0594-22-7208
FAX 0594-24-1581



桑名南医療センター（旧桑名市民病院分院）

住所 三重県桑名市中央町一丁目32番地1
電話 0594-22-0650（代表）
FAX 0594-22-5608（代表）
〈地域連携室〉 電話 0594-82-6889
FAX 0594-22-5771



【法人事務局】住所 三重県桑名市寿町三丁目11番地
電話 0594-22-1211（桑名東医療センター代表）

